

よくかんで、よくたべる！

杉並区議会議員 てらだはるか通信 vol.4 2023年06月26日号

令和5年度の杉並区議会第2回定例会が終了しました。5月1日から始まった初めての区議会議員としての任期。一般質問や委員会での質問の機会を得て、これまでの自分の知識と経験、みなさんから学んだことを総動員して、議席の意味を噛み締めながら議場に立ちました。

議員になる前は、傍聴に行った時に質問に立たない議員を見ても「今日は聞くことがないのかな」くらいに思っていました。議場において質問や意見をしないということは、議員の仕事をしていないということです。昼間は職員

や地域の方にお話を聞いたり現地に調査へ行き、夜は書類や書籍で学び、議会の質問を作る。こんなに連日連夜仕事漬けとは思わず恐れ慄いていますが、「仕事をする議員」としてみなさんに頼ってもらえるよう、頑張りたいと思います。

もちろん、今回の統一地方選を通して杉並区議会は女性議員が過半数を超えたということで注目が集まり、傍聴席が連日いっぱいになっているので、議員も理事者（区の職員）も緊張感が増していることは確かです。みなさんもぜひ時々傍聴に来て、議員たちがちゃんと仕事をしているか、そして行政がちゃんと質問に答えて、より良い住民生活に向けて前向きに取り組んでいるか、チェックしてみてください！



おどるくぎかい

杉並区議会は、年4回の定例会を行なっています。その他に臨時会が必要に応じて開かれたり、委員会だけがちょこちょこ開催されたりして、年度途中の事業の報告がされたり、補正予算が組まれたりします。一年を通して、区議会議員が区役所に通う日数は意外とたくさんあります。下の表に書いていない、4、7、8、12、1月はお休みではなく、この期間の間に他自治体への視察や地域での調査を行い、勉強をして次の議会に臨む、という感じです。

5月	臨時会	議長や委員会を決める
6月	定例会	本会議、委員会、議決
9月	定例会	本会議、委員会、議決
10月	決算特別委員会	前年度のお金の使い方について検証、来年度予算への要望
11月	定例会	本会議、委員会、議決
2月	定例会	本会議、委員会、議決
3月	予算特別委員会	来年度の予算を決める

一般質問（いっばんしつもん）

…議員がそれぞれ自分の専門分野や興味関心を発揮して、区政のあらゆることについて自由に質問を行う機会のこと。年4回ある定例会では、毎回必ず一般質問のチャンスがあります。それぞれの議員は30分の持ち時間で、区政への追及や提案も含めた質問を行い、それに対して理事者（区の職員の管理職たち。区長、副区長、部長、教育長など）が答えます。ここでの質問は事前に職員と綿密なやりとりをしています。議員が25分くらい喋って質問をし、それぞれの所管（聞かれた質問の担当部署）の理事者が15分くらいかけて入れ替わり立ち替わり答えます。ちゃんと答えてもらえなかったり、答弁に対してもう少し掘り下げて聞きたいことなどを、そのあとまとめて再質問します。再質問は一回しかできません。一般質問は本会議なので、中継と録画配信があります。



○てらだはるか

1. 子どもの権利について
 2. 保育・学童保育の質について
 3. すべての子どもにとって安全で安心な学習環境について
 4. サードプレイスと文化的なまちづくりについて
- http://suginami.gijiroku.com/voices/g07_Video_View.asp?SrchlD=8367



さて、今回私は、もちろん一般質問を行いました。言いたいことや要望したいことは山のようにありましたが、まずは大事な子どもの権利のこと。すべての子どもの権利を守る、ということを念頭に、「子ども」という存在を区がどのように捉えているか、そして権利擁護の取り組みに向けて大事にしたいことについて、さらに、差別が起きないための取り組みについても聞きました。

次にその子どもの権利を、公共の役割として保障するための環境が整っているのかをチェックするため、保育園、学童、児童館、学校、などについて質問。

保育の質向上については、現在区は様々な取り組みを行っていますが、公立園の民営化と私立保育園の激増で、区が現状を把握しきれていないところがあります。一度目の答弁では区が現在取り組んでいることについてしか答えてもらえなかったため、再質問もしました。保育の質向上に向けてはやはり保育士の配置基準と保育に携わる職種の処遇改善が必要なので、今後も質問を続けていきます。

施設再編整備計画（杉並区は今、区立施設を統廃合しています）による児童館の廃止に伴い、学童クラブが学校内に移設、民間委託が進んでいます。こちらも行政が子どもたちの姿を把握できていない現状があり、調査が必要です。小学生が自由に遊べない環境にならないよう、大人たちは知恵を絞らなければいけません。

国の方針によって、不登校対策にもさらに積極的に取り組むことになっています。杉並区には特例校と呼ばれる学校はまだありませんが、今後設置していく予定だそうです。また、発達障害などで学びや人間関係に困っている子どもたちも増えています。学校でもっと穏やかに過ごせるよう、これも今後様々な提言をしていきます。

そして大人も子どもも関係なく、自分たちでコミュニティを作って人生を楽しむことができるように環境を整えるのも、公共の役割です。ゆうゆう館が地域に点在することで保ってきた高齢者の心身の健康があり、その機会を奪わないでほしいということや、「公園で気軽にボール遊びができない」「スケートボードが楽しめる場所を守りたいし作りたい」という要望が子どもたちから多くあることを伝えました。まちづくりに住民の声を反映させる、と、改めて区長からも力強い答弁をいただきました。

委員会(いいんかい)

…常任委員会は、区政の中でも専門分野に分かれて議論を深めるため、杉並区では5つ設置されています。総務財政、保健福祉、都市環境、文教、区民生活、の5分野です。

…特別委員会は、報告や検討を行うべきことがあるときに立ち上がる委員会です。災害対策、議会改革、ICT化の推進、外環道や交通安全、祭り、町内会や自治会の推進など、具体的な内容が議題に上がります。報告事項は委員会の2日前にしか上がってこないの、そこから調査をして質問を行います。

現在杉並区の特別委員会は、分野別に分かれて12人ずつ参加するものと、予算や決算を決めるため48人全員で参加するものの2種類があります。

質問は一人往復10分の一問一答形式。より専門的に話を深めるため、答弁に立つ理事者も部長だけでなく、課長が詳しく話してくれます。傍聴に来てその場で見ることはできますが、残念なことに委員会は中継も録画も基本ありません。予算・決算の時だけ録画が残ります。大事な話し合いを区民に見せないなんて、変ですよ。

都市環境委員会

今年度のてらだはるかの常任委員会は、都市環境委員会。公園や道路のこと、住まいのこと、気候変動、ゴミ対策など、「みどり豊かな住まいのみやこ」を基本構想のテーマとして掲げる杉並区にとって、重要な話がいくつも議題になる委員会です。やりとりの一コマを紹介します。

道路とまちづくりは一体であるというが、西荻窪の都道132号線は商店街が道路用地として買収され、余った土地に店舗の入らない投資用物件が建ったりしている。これでは「まち」が衰退するのでは？

住民との議論が必要で、まちづくりの話をしなないといけないことはわかっている。まちとしての方針がないと、店舗は入れられない。

まちづくりを考える枠組みとして、西荻デザイン会議、高円寺デザイン会議、というものを立ち上げると区長が宣言したが、誰が、どのような話しをする場になるのか。

それについてはまだ何も決まっていないので、現時点では詳しいことは伝えられない。

このデザイン会議は、道路拡幅が完了してしまった後の街の姿について話し合う場か。それとも、用地買収が困難で道路が拡幅できなくても、まちづくりについて住民が意見を出せる場としてあるのか。

そのどちらも含んだ形で作っていく予定。デザイン会議の中で部会を作って検討していこうと思っている。道路拡幅は、できるまでやるつもりで今後も住民と折衝していく。

区は道路拡幅や施設再編の話になると、途端に答弁に隠し事や決定事項が多くなります。うむむ。

DX・議会改革に関する特別委員会

私は立憲民主党杉並区議団、という6人の会派に属しています。会派で委員会を分担しているの、好きどころや得意なところだけを選べる、というわけではありません。会派内には、デジタル関連で詳しい人が誰もいませんでした。そのため今回は「DX(デジタルトランスフォーメーション)って何!？」というところから勉強し始め、委員会に臨みました。本を買って読んでみたり、他会派の詳しい人がいろいろ教えてくれたりして、なんとか一回目の委員会を終えることができました。こちらやりとりの一コマを。

経済的な格差が情報格差につながらないように、家庭でのWi-Fi環境の整備や電子機器の購入助成・貸し出しなどを行う自治体もあるが、杉並区ではやる予定は？

学校で使うタブレットについては、Wi-Fiの貸し出しやLTE通信対応モデルへの更新を行なっている。かなりの予算が必要になるため、現在は区として小中学生以外に支援する予定はない。

学習eポータル「まなびポケット」について、4月に不具合が多いと聞く。今年度はどのような不具合が、何件あったか。

今年度は4月5月で73件の不具合の報告があった。重複登録されていたり、学年が変わってログインができないなどが多く聞かれた不具合。小中の引き継ぎで学習記録が消えてしまったものもある。

学校教員にも、デジタル技術をうまく活用できる教員とそうでない教員がいます。特に今、産休代替の臨時職員が60代であることも珍しくなく、図工や家庭科の専科の先生が、休職や退職したクラス担任の穴埋めで急遽担任を持つことも多い学校現場。ICT活用推進のための教員向け研修を杉並区でも実施しているそうだが、その手応えや課題を教えてください。

区としても試行錯誤しながら研修を行なっている。要請があれば学校に出向くこともあるが、教員同士の認識に差がある中では、やはりレベル別に研修を行う必要がある。業務時間内で効率的に研修が行えるような工夫をしていくことが課題。

今回は議会改革に関する報告はありませんでしたが、今後、議会のリモート参加環境の整備、委員会の中継や録画配信、区HPに掲載された議事録に読み上げ機能を追加するなど、もっと議会の中での話し合いがみなさんに届くよう、改革を進めていきたいと思っています!

〜〜広報委員もやっています〜〜

『杉並区議会だより』って、みなさん読んだことありますか?実は今年度の区議会だよりの編集にも、委員として関わることになりました。点字や音声ガイドについての案内の記載があまりにも小さかったので、大きく表示してもらえるよう要望したところ、さっそく次号(8月)から少し大きくなります。

【連絡先】〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 区議会事務局内 立憲民主党杉並区議団控室
てらだはるか 070-1385-3043 teraharu.minnanomachi@gmail.com
TwitterとInstagram やってます。 Web サイト: teraharu.com